

平成26年度事業報告書  
(簡略版)

社会福祉法人誠友会

# 1 概要

## 1 法人及び施設の概要

### (1) 法人

- ① 法人名 社会福祉法人誠友会
- ② 所在地 千葉県佐倉市岩名1011番地
- ③ 代表者 理事長 竹内 淳
- ④ 設立年月日 昭和63年11月4日
- ⑤ 目的 多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する。

### ⑥ 役員・評議員 平成27年3月31日現在

役職名	氏名	公職等
理事長・評議員	竹内 淳	特養佐倉白翠園園長
常務理事・評議員	竹内久美子	はくすい保育園 園長
理事・評議員	大久保靖夫	NPO法人 栄町観光協会理事長
理事・評議員	福山 昭	元佐倉市総務部長
理事・評議員	中野いく子	桜美林大学加齢発達客員研究員
理事・評議員	木村 正久	木村 医 院 医 師
理事・評議員	野口 恭義	佐倉警察官友の会副会長
理事・評議員	網仲 純子	千葉家庭裁判所調停委員
理事・評議員	鈴木敬一朗	特養 栄 白 翠 園 園 長
理事・評議員	寺田 純子	佐倉市社会福祉協議会理事
評議員	海老原衡治	前佐倉市商工会議所副会頭
評議員	櫻井 肇	佐倉市内郷地区社会福祉協議会会長
評議員	八田羽由江	NPO 法人ねむの里理事長
評議員	佐藤 武弘	学校法人佐藤学園理事長
評議員	峰村 愛子	ボランティア代表
評議員	安宅 香織	特養佐倉白翠園事務長
評議員	田代 道郎	利用者家族代表
評議員	萩原 勝世	松ヶ丘団地自治会会長
評議員	烏海 孝範	NPO佐倉ラボ 代表理事
評議員	穴原 昌弘	栄町民生・児童委員協議会 会長
評議員	川島 良子	栄町社会福祉協議会 会長
監事	小澤 洋和	税 理 士
監事	佐藤 満	元四街道市福祉サービス部長

## 2 会議開催状況

(1) 理事会 全5回 評議員会 全4回

### 主な議題

事業報告、事業計画、予算、決算、定款、各種規程変更、役員の改選、  
認可保育園開設に関する事項等

(2) 苦情処理委員会開催状況 全2回

(3) 合同経営会議 全12回

## 2

## 佐倉白翠園

### [1] 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1 指定施設サービス内容 定員50名

### 2 会議等

所属長会議（全51回） 給食委員会（全12回）  
職員全体会議（全1回） 衛生委員会（全12回）  
経営会議（全12回） 感染症対策委員会（全12回）  
看護会議（全12回） 行事委員会（全12回）  
介護会議（全体会議2回、介護会議2回）  
介護リーダー会議（全12回）  
個別処遇会議（全45回）  
入所（入居）検討委員会（全17回）

### 3 防災

(1) 防災訓練実施日及び内容 全11回

### 4 ボランティア活動

(1) ボランティア活動年間延べ1095人（前年度 1220人）  
(2) ボランティア懇談会 全2回

### 5 地域交流事業 全6回

6 実習生受け入れ状況 年間実人数 53名 延べ人数 290人 延べ日数 290日  
福祉・医療系 教育系等

### 7 各部門

【生活相談室】 正職1名（介護部兼務）

4月を中心に上半期で退所が相次いだり、全体的には前年度並の稼働率となった。

(1) 年間平均稼働率 96.4%（前年度96.0%）  
(2) 平均介護度 3.66（前年度4.04）  
(3) 平均年齢 85.4歳（前年度86.2歳）

【看護室】 加算配置1名 正職1名 嘱託・パート：6名（ショート・デイ・ユニット兼務）

季節性による体調不良者が4月と11月に多くみられた。また、入所者の高齢化により園内での看取りが多くみられた。

(1) 病院受診状況 年間延べ883名（前年度年間延べ959名）  
(2) 入院状況 年間 9名（前年度年間 10名）  
(3) 死亡者数 年間 11名（前年度5名）

【栄養室】 加算配置正職1名（ショート・デイ・兼務）

全体の食レベルの低下に伴い、行事食時にソフト食の導入を実施。多職種協働による栄養ケア計画の見直しを図り、栄養リスク改善がやや図られた。

【介護部】 正職16名 嘱託・パート11名（相談室兼務1名 ショート担当兼務9名）

前年度に引き続き、特養介護部門とショート介護部門の分離化を進めた。また、入所者にとって居心地のよい共有スペース作りに取り組み始めた。業務について、特養、ショート共に日常生活記録のパソコン化を確立させた。

(1) 年間行事参加人数（SS含） 1157名（前年度1157名）  
(2) 年間誕生会参加人数（SS含） 638名（前年度676名）  
(3) 年間クラブ・レク実施状況（SS含） 122回（前年度155回）

(4) 精神スケール調査

平成26年11月15日～11月30日 改訂 長谷川式スケール調査

	カットオフポイント	平成25年度	平成26年度
非認知症	21点以上	3	1
認知症	20点以下	31	34
調査不可能	—	14	11
未調査	—	0	4
合計	—	48	50

[2] 特別養護老人ホーム(ユニット型介護老人福祉施設)

1 指定施設サービス内容 定員50名(1ユニット10名×5ユニット)

2 会議等 介護全体会議 全1回 ユニットリーダー会議 全10回  
ユニット会議 各ユニット全3回

3 各部門

【生活相談室】 専任正職1名

職員不足並びに入居申込者のキャンセル等が相次いだが、年度末には5ユニット(全50名)の入居が完了した。

- (1) 年間平均稼働率 77.7% (前年度 41.9%)
- (2) 平均介護度 3.16 (前年度 3.05)
- (3) 平均年齢 87.1歳 (前年度 85.1歳)

【看護室】 加算配置1名 正職1名 嘱託・パート:6名(ショート・デイ・ユニット兼務)

前年度に引き続き、環境変化の影響によるのか体調を崩す入居者が多く、入院も多くみられた。

- (1) 病院受診状況 年間延べ608名(前年度年間延べ121名)
- (2) 入院状況 年間18名 (前年度年間11名)
- (3) 死亡者数 年間2名 (前年度2名)

【栄養室】 正職兼務1名(事務兼務)

ユニット型は常食を基本とし、利用者の目の前で刻む食事提供を基本として実施。食事レベルが低い利用者への食事提供方法の検討実施、食の楽しみとしての企画食の取り組みを行った。

【介護部】 正職15名、パート10名

3月に全てのユニットへの入居が完了。ユニットごとに、入居者の生活リズムを考慮した介護計画策定やケース検討の取り組みを始めた。ユニット内でのグループワーク、余暇活動等並びに他事業所との連携活動への取り組みを実施。

- (1) 年間行事参加 従来型行事への参加 6回
- (2) 年間誕生会回数 36回

[3] ショートステイサービス(短期入所生活介護事業)

1 指定居宅サービスの内容 定員24名

2 会議等 ショートステイ会議 全5回

3 各部門

【生活相談室】 正職1名(特養従来型兼務)

実人数は増加したが、施設入所(従来型・ユニット型特養や他施設)が多くあり、全体的に稼働率が低下した。

- (1) 年間平均稼働率 72.7% 平均利用 17.5名  
(前年度 85.5% 20.5名)

【看護室】 加算配置 1名 正職1名、嘱託・パート：6名（ショート・デイ・ユニット兼務）  
医療行為の必要な利用者が増加した。

- (1) 年間医療行為利用者 述べ377名（前年度 87名）

【栄養室】 正職1名（従来型・デイ兼務）

米飯、常菜・一口大の食事形態が8割を占める。摂食状況にムラのある利用者が増加し、個別対応が必要になってきている。

- (1) オヤツ作り 年2回

【介護部】 従来型に準ずる。

#### [4] デイサービスセンター（通所介護事業）

##### 1 指定居宅サービス内容

通常規模型通所介護（定員）月曜～金曜：30名 土曜：25名

認知症対応型通所介護（定員）月曜～土曜：12名

##### 2 会議等 デイ会議 全12回

##### 3 ボランティア協力状況 年間延べ393名（前年度521名）

##### 4 実習生受け入れ状況 年間実人数 10名 延べ日数 15日 医療系

##### 5 各部門

【生活相談室】 専任正職2名 兼務1名

通常型は日曜日が休止（平成26年3月1日付）になり稼働率が増加した。新規利用者数は増加したが、入所・長期入院・死亡を理由とした中止者も多かった。

認知症対応型は減少した。（新規の需要が減少、入所・死亡を理由とした中止者が多い）

- (1) 稼働率 通常・予防型 年間平均稼働率 74.3% 平均利用 21.7名/日  
(前年度 67.3% 18.9名/日)

認知症対応型 年間平均稼働率 33.1% 平均利用 3.9名/日  
(前年度 43.1% 5.0名/日)

- (2) 平均年齢 84.6歳（前年度85.1歳）

- (3) 新規利用者数 通常型 34名（前年度18名） 認知症対応型 2名（前年度4名）

- (4) 中止者数 通常型 22名（前年度29名） 認知症対応型 7名（前年度11名）

【看護室】 正職1名、嘱託・パート：6名（ショート・デイ・ユニット兼務）

医療行為利用者が多く見られている

- (1) 年間運動器機能 年間 48名（前年度 12名）

- (2) 医療行為件数 年間 実人数 31名（胃瘻、バルン留置者）

【栄養室】 正職1名（従来型・ショート兼務）

米飯、常菜・一口大の食事形態が約8割を占める。選べる食事、出来立ての食事の提供として、毎月1回企画食を実施した。

- (1) 行事食実施状況 毎月1回 天ぷらバイキング、おやつバイキング等

- ① オヤツ作り 通常型 9回（延べ84名） 認知対応型 9回（延べ47回）

【介護部】 正職5名（内1名兼務、1名育児休暇中） 嘱託、パート11名

園内外活動状況（園外）6回（園内）18回並びに誕生会毎月

[5] ヘルパーステーション（訪問介護事業）

事業所の傾向として、身体介護の援助が減少し、生活援助・予防介護が増えてきている。

1 利用規模 佐倉市、酒々井町、栄町全域並びに印西市旧印旛村地区、成田市、公津地区及び四街道市千代田地区

2 職員数 サービス提供責任者 正職 1 名 登録ヘルパー 7 名

3 会議等 ヘルパー会議 全 12 回

4 利用状況

年間身体介護件数 1698 件（前年度 2566 件）

年間生活介護件数 949 件（ // 504 件）

年間身体+生活件数 301 件（ // 325 件）

年間予防介護件数 938 件（ // 560 件）

介護保険外サービス利用状況 全 8 件（ // 9 件）

[6] ケアサービスセンター

要介護新規利用者は減少傾向にあり、在宅介護より施設生活を望む利用者が増えている。

1 利用規模 150 ケース

2 職員数 正職 3 名 パート 1 名

3 利用状況

新規プラン受付 年間 51 件（前年度 47 件）

年間利用件数 要支援 377 件（前年度 381 件） 平均 31.4 件/月

要介護 1591 件（前年度 1799 件） 平均 132.6 件/月

## 3

## 栄白翠園

## [1] 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

## 1 指定施設サービス内容 定員50名

## 2 会議等

所属長会議（全51回） 給食委員会（全12回）  
 職員全体会議（全1回） 衛生委員会（全12回）  
 看護会議（全12回） 感染対策委員会（全12回）  
 介護部職員会議（全12回） 行事委員会（全12回）  
 リーダー会議（施設リーダー会議全12回、在宅リーダー会議全12回）  
 入所検討委員会（全12回）

## 3 防災

(1) 防災訓練実施日及び内容 全11回

4 ボランティア活動 年間延べ198人（前年度 205人）

5 地域交流事業 全5回

6 実習生受け入れ状況 年間実人数 41名 延べ人数 228人 延べ日数 50日  
 福祉・医療系 教育系等

## 7 各部門

【生活相談室】 正職1名

年間入退所数は前年度と変わりなかったが、入所者の高齢化や元々の疾患による入院者が  
 増えたことが稼働率に影響している。

- (1) 年間平均稼働率 95.7%（前年度 96.5%）  
 (2) 平均介護度 3.73（前年度 3.71）  
 (3) 平均年齢 88.4歳（前年度 87.9歳）

【看護室】 正職：2名 パート：2名（1名デイ兼務）

感染症の流行は見られなかったが、入所者の高齢化により受診数が増加している。

- (1) 病院受診状況 年間延べ929名（前年度年間延べ832名）  
 (2) 入院状況 年間 26名（前年度年間 27名）  
 (3) 死亡者数 年間 8名（前年度7名）

【栄養室】 正職1名（ショート・デイ兼務）

主食	米飯 44%	全粥(ミキサー食) 36%	パン食 10%	
副食	常菜(一口大) 42%	荒刻み(刻み) 28%	極食刻み(ミキサー食) 14%	流動食(経管) 16%
低栄養のリスク	低：72%	中：28%	高：0%	
特別食	療養食：24%	経口維持：20%	補助食品付：28%	

※健康管理面では昨年度よりも良好であるが、特別食の割合が増え、咀嚼・嚥下状態の更なるレベル低下がうかがえる。

【介護部】 正職13名（ショート担当3名） 嘱託・パート6名

入所者の高齢化もすすんでいることから、看取りを念頭においた介護への取り組みを始めた。

- (1) 年間行事参加人数（ショート含） 656名（前年度646名）  
 (2) 年間誕生会参加人数（ショート含） 644名（前年度667名）



(3) 年間クラブ・レク実施状況（ショート含） 34回（前年度45回）

(4) 精神スケール調査

平成26年2月1日～2月28日 改訂 長谷川式スケール調査

	カットオフポイント	平成25年度	平成26年度
非認知症	21点以上	5	2
認知症	20点以下	38	36
調査不可能	—	6	11
未調査	—	1	0
合計	—	50	49

[2] ショートステイサービス（短期入所生活介護事業）

1 指定居宅サービスの内容 定員10名

2 会議等 ショートステイ会議 全12回

3 各部門

【生活相談室】 正職1名（介護支援専門員兼務）

新規利用者は前年度に比べて増加したが、施設入所等により前年度に比べ平均稼働率は低下した。

(1) 年間平均稼働率 81.0% 平均利用 8.1名  
(前年度 83.0% 8.3名)

【看護室】

胃瘻やインスリンが必要な利用者が長期に利用した為、大幅に増加した。

(1) 年間医療行為利用者 延べ 354名（前年度 56名）

【栄養室】 正職1名（特養・デイ兼務）

主食	米飯：88%	全粥（ミキサー食）：13%	パン食：6%	
副食	常菜（一口大）：78%	荒刻み（刻み）：22%	極食刻み（ミキサー食）：0%	経管：1名

※ SS利用者の食事に対するレベルは、特養よりも高い傾向にあった。

(1) おやつ作り 年16回

【介護部】 従来型に準ずる

手作りおやつや鍋企画などの行事、ショートステイの広報誌の発行等実施した。

[3] デイサービスセンター（通所介護事業）

1 指定居宅サービス内容

通常規模型通所介護（定員） 月曜～土曜：28名

2 会議等 デイミーティング 全12回

3 ボランティア協力状況 1名

4 各部門

【生活相談室】 専任正職2名 兼務1名

利用者は前年と変わらないが大幅に稼働率が上がった。

(1) 稼働率 通常・予防型 年間平均稼働率 70.0% 平均利用 19.0名/日  
(前年度 61.0% 18.3名/日)

(2) 平均年齢 83.2歳（前年度83.6歳）

(3) 新規利用者数 通常型 22名（前年度22名）

(4) 中止者数 通常型 20名（前年度19名）

【看護室】 パート：2名（1名特養と兼務）

リハビリによりADLの維持向上を目指した。

(1) 医療行為者延べ人数 胃瘻 12名 バルン留置者 12名 在宅酸素 12名

【栄養室】 正職1名（特養・シヨート兼務）

主食	米飯（おにぎり）：94%	全粥：6%	パン食：3%	
副食	常菜（一口大）：91%	荒刻み（刻み）：9%	極食刻み（ミキサー食）：0%	経管：1名

※ DS利用者の食事に対するレベルは、特養やSSよりもさらに高い傾向にあり、食事に対する介護を必要とする利用者は少ない。

(1) 行事食実施状況 25回

[4] 在宅介護支援センター（委託事業）

26年度より独居高齢者の実態把握調査を実施している。

1 利用規模 栄町全域

2 職員数 居宅介護支援事業所と兼務

3 利用状況

対応件数 41件（前年度 33件）

[5] ケアサービスセンター

新規利用者は前年度より多いものの、施設入所や死亡等により終了者も多い。26年度中の終了者34名（うち予防給付6名）。内訳は施設入所13名、死亡7名、長期入院5名、転居2名、給付変更7名。

1 利用規模 介護給付60名 予防給付11名

2 会議等 ケアサービスセンター会議 全12回

3 職員数 正職兼務2名（うち1名は短期入所生活介護事業相談員を兼務）  
嘱託兼務1名

4 利用状況

新規プラン受付 年間34件（うち予防給付4件）（前年度27件（うち予防給付9件））

年間利用件数 要支援 99件 平均 8.25件/月（前年度 108件）

要介護 519件 平均 43.25件/月（前年度 563件）

## 4 松ヶ丘白翠園

前年度に比べて利用者登録人数は減少しているが、利用者の重度化に伴い利用回数が増加したことで、稼働率の維持と向上に繋がった。

1 指定居宅サービス内容 通常規模型通所介護（定員） 月曜～金曜：35名 土曜：15名

2 会議等 デイミーティング 全10回

3 ボランティア協力状況 年間延べ255名（前年度266名）

### 4 各部門

【生活相談室】 専任正職1名 兼務2名

(1) 稼働率 通常・予防型 年間平均稼働率 74.2% 平均利用 23.5名/日  
(前年度 73.1% 23.2名/日)

(2) 平均年齢 83.9歳（前年度83.8歳）

(3) 新規利用者数 通常型 11名（前年度16名）

(4) 中止者数 通常型 13名（前年度18名）

【看護室】 パート1名、嘱託2名（佐倉白翠園兼務2名）

(1) 運動器機能向上 年間延 2328名（前年度 2328名）

(2) 個別機能訓練 年間延 439名 （前年度 2858名）

【栄養室】 国民の祝日に合わせて、委託業者に依頼し、行事食を実施した。

【介護部】 正職2名（生活相談室兼務） パート7名

園内外活動状況 （園外）毎月 （園内）クラブ活動並びに誕生会毎月

5 地域交流事業 全24回

## 5 佐倉地域包括支援センター

当圏域の高齢化率は31.2%、総世帯数が減少する中で、独居世帯数は増加している。積極的な広報活動とアウトリーチによる支援の必要な高齢者の把握を行うと共に、地域課題の把握に努めた。

1 利用規模 佐倉市佐倉圏域

2 職員数 正職4名 パート2名

3 利用状況

指定介護予防支援月別利用者数 年間延べ 3155名（前年度2681名）

新規利用者数 年間延べ 116名（前年度103名）

相談件数 年間延べ 712件（前年度662件）

## 6 保育事業

認可保育園は12月に開園。事業所内保育、病後児保育共に順調に稼働している。高齢者施設との交流の取り組みを実施した。

1 認可保育所

(1) 利用規模 認可保育事業（定員）60名 病後児保育事業（定員）3名

(2) 保育会議 全4回

(3) 利用状況

認可保育事業 登録児童 16名 年間利用延利用人数 733名

病後児保育 事前面接件数 12件（昨年25件）

年間利用人数 11名（昨年4名） 延利用日数 10日（11日）

2 事業所内保育

(1) 利用規模 定員6名

(2) 保育会議 全5回

(3) 利用状況 月極め利用 1名 一時利用 23名

年間延利用人数 1108名（昨年384名）

平均 3.6名/日（昨年1.6名/日）